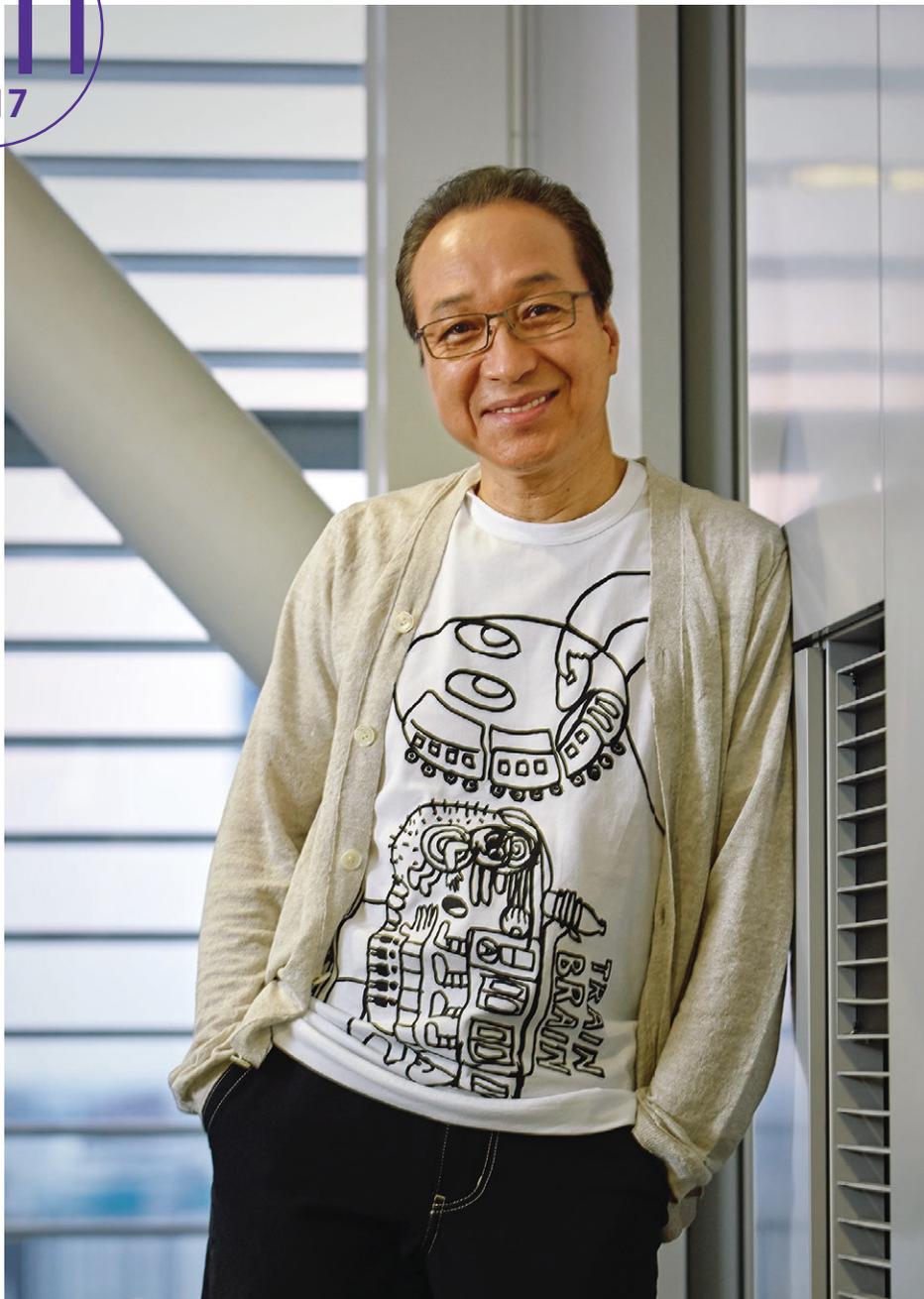


kanagawa ARTS PRESS

神奈川芸術プレス Vol.138

10|11
2017



CREATOR'S VOICE 157

小日向文世

白井晃演出「オーランドー」

撮影:末武和人

高山明、長塚圭史、岡田利規…
多彩な演出が光る今秋のKAATラインナップに注目!
声明「月の光言」が音楽堂で開催

隔月刊:奇数月15日発行

時空も性差も超越する劇世界を

演出家・白井さんと一緒にどう料理するか。

完成図が想像できない芝居づくりにワクワクします。

KAAT × PARCO プロデュース公演 「オーランドー」

KAAT神奈川芸術劇場

小日向文世 俳優



俳優としての堅固なキャリアとは裏腹に、俳優・小日向文世はあたたかな笑顔と天真爛漫な言動で、その場を一瞬にして和ませてしまう不思議な魅力の持ち主。その彼が、自身の出身である小劇場演劇界で「世代や演劇観が近い存在」と認めるのが、KAAT神奈川芸術劇場芸術監督・白井晃だ。二人の久々のタッグが実現する場として選ばれた作品は、時空を超えるヴァージニア・ウルフの幻想小説が原作の「オーランドー」。時代、場所、性別さえも超越して変転する、美貌の青年貴族オーランドーの運命の軌跡をいかに舞台に乗せるか。新しい玩具を手にしたかのように、嬉々として語る小日向の言葉のはしばしから、演劇への愛情があふれてくる。

偶然により実現した久々のタッグ

16世紀イングランドに生まれた貴族オーランドーは、少年時代からエリザベ

ス女王をはじめ、あらゆる女性を魅了する美貌を誇り、与えられる愛を享受する日々を送っていた。だが初めて自ら愛したロシアの姫サーシャには無情な別れを突きつけられ、傷心でトルコをめざす。その地で30歳になったオーランドーは、一夜にして女性に変身し……。

世に広まりつつある「オーランドー」のチラシ&ポスターには、マジカルな作品世界を生きるキャラクターを戯画化した、キツチュでカラフルな衣裳とメイクに包まれた6人の俳優が鮮やかに刷り込まれている。中でも異彩を放つのは、オーランドー役の多部未華子とともに、エリザベス女王と、女性となったオーランドーと結ばれる騎士シエルマーダインの二役に扮する小日向の姿。オーランドー同様に性を超越した二役に、はやくも入り込んだようなフォトジェニックな“なりきりぶり”を披露している。

「宣伝ビジュアルの撮影、すっごく楽しかったんですよ！ 白塗りメイクやデ



小日向文世 Fumiyo Kohinata

1977年にオンシアター自由劇場入団。96年の解散まで中核的存在として数々の舞台上で活躍する。解散後は映画、TVにも活躍の場を拓き重要な役どころで高い評価を得る。2011年の舞台「国民の映画」で読売演劇大賞最優秀男優賞を受賞。12年公開の映画「アウトレージビヨンド」ではキネマ旬報ベスト・テンで助演男優賞を受賞。近年の舞台に「ディスグレイスト-恥辱-」(16年)、映画に「サバイバルファミリー」「LAST COP THE MOVIE」(17年)など多数。テレビはNHK「まれ」(15年)、NHK大河「真田丸」(16年)、TBS「重版出来!」(16年)、ANB「緊急取調室」NHK「みをつくし料理帖」(17年)他。



コラティブな衣裳は久しぶりだったけれど、所属していた劇団オンシアター自由劇場では『ティンゲル・タンゲル』という、劇や音楽、大道芸などが混在するショウを毎年のようにやっていて、今回のようなビジュアルで毎回臨んでいた。だから懐かしくて嬉しくて、本番の舞台も白塗りのままでやりたいと思ったくらい(笑)。最近社会性の高い、重い舞台が続いていたので、飛躍の大きな『オーランド』の世界に飛び込むのが、楽しみです。仕方ありません」

新たな作品との出会いは、意外にも古巣劇団での記憶に結びついたようだ。

「劇団では随分とコミカルなことをやっていたのに、離れてからはなぜかシリアスな役や作品を演じる機会が多くなっていたので、今回のように、完成図が想像できない舞台にはとてもワクワクします。それに、白井さんは劇団代表だった串田(和美)さんが創るオモチャ箱をひっくり返したような世界、お好きですよね？ これまで何度も一緒に舞台を創っているくらいですから」

演出家・白井とのタッグは99年の「阿呆劇・ファルスタップ」以来18年ぶり。

「俳優同士としての共演はありましたが、白井さんの演出を受けるのは実に久

しぶり。以前から「一緒にやろうよ」とお誘いはいたっていたのですが、なかなか実現しなかったんです。それが去年、別々の作品の関西公演の帰り、同じ新幹線に乗りあわせる偶然があった。なんとはない話の流れで「やろうか」と言ったら白井さん、その場でパソコンを開けてあたためていた企画「一覧を見せてください、そのなかで僕が一番興味を持ったのが『オーランド』でした」

飛躍の大きな作品への期待

男女両性の複数役を演じるアイデアは、最初の密談時からあったとか。

「オーランド」役は美しい人がやるべきだと思ったのでお断りしましたが(笑)、一読してリアリズムの枠組みからは離れた戯曲だとわかり、いろいろなことができる可能性の大きな作品だと思えた。物語やドラマをすぐには理解できなくても、きれいで面白い、もう一度観たくなる舞台が、白井さんの演出ならできるんじゃないかと思ったんですよ」

わかりやすさよりも観る者の心に深く残ることをめざし、舞台と客席の境い目を取り去る演劇ならではの表現と美しさの追求を掲げる白井芸術監督の指針に、

KAAT × PARCO プロデュース公演 「オーランドー」

2017年9月23日(土・祝)～10月9日(月・祝) KAAT神奈川芸術劇場(ホール)

原作:ヴァージニア・ウルフ 翻案・脚本:サラ・ルール

翻訳:小田島恒志/小田島則子

演出:白井晃

出演:多部未華子 小芝風花 戸次重幸 池田鉄洋 野間口 徹 小日向文世

全席指定 S 8500円 A 6500円 (U24 4250円 高校生以下1000円 シルバー割引8000円等の割引チケットあり)

※未就学児の入場不可

詳細はHPをご覧ください。

◎新国立劇場 中劇場 2017年10月26日(木)～29日(日) 松本、兵庫公演あり

そのまま重なる小日向の言葉はひどく頼もしく感じられる。

「もちろん、そんな骨太で噛みごたえのある演劇作品を創るには、僕ら俳優にも相応のエネルギーが必要。時空を超え、劇世界を俳優の生身で表現するためには、当然生みの苦しみもあるでしょう。年を取ったら少しは楽になるかと思っただけけれど、全然変わらないうどころか、むしろ芝居づくりに関する体感はずいぶん悪化。だからこそ覚悟を決めて、でも丁寧にゆっくりと創りながら、楽しむことも忘れない稽古場になればいいなと思っています」

続けて「でも白井さんって稽古時間がとても長いんでしょう? 僕らも劇団時代は朝から晩まで稽古や大道具づくりに没頭していたけれど、今は体力がもつかなあ」と破顔した表情は一段とチャーミング。気負いなく、けれど必ず作品を牽引するタフネスさを発揮してくれるであろうことが、その語り口からも感じられる。

最後までガッチリくらくらくしていただくために

「白井さんが、この戯曲のごこから手をつけるのかも楽しみですよね。3人の音

楽家による生演奏もあるし、「コーラス」という語り部的な存在も、劇中でどんなふうに機能させるのか考えどころです。劇中のドラマと観客の橋渡し役か、もっと音楽的なアクセントにするのか……わあ、稽古タイヘンそう! でも、一つひとつのアイデアを具現化していくのが、こういう抽象的な世界観を持つ芝居づくりの醍醐味。メンバーには多部さんをはじめ、个性的かつ魅力たっぷりの俳優さんがそろっていますから、存分に話し合い、一緒に作品を介して遊べたらいいですよ」

と、力強く語った直後、自身と多部以外のキャストはまだ、どんな複数役を演じるかが確定していないことを聞いた途端に「え、早く役割を決めたほうが、俳優は役や作品についていろいろ考えられて良いのに。白井さん、まさか稽古が始まってから役を変えたりしないよね? 僕は決まっている二役以上は演らないからね!」と予防線を張る一幕も。

「でもなあ。きつと自由劇場解散以来、ここまでたっぷり稽古するのは初めて、という時間になるんだろうな。ここはもう、腹をくくるしかありません! 白井さんがぶつけてくるものに、同世代の僕が負けるわけにもいかないし、最

最後までガッチリくらくらくしていかないと、ですね」

my theater myself

私にとつてのKAAT神奈川芸術劇場

初めてKAATの舞台で演じたのは2011年の「国民の映画」。後に賞などいただきましたが、演じたナチスの高官ゲッペルスは「もう舞台上に立てないかも……」というほど、悩み追い込まれた役で、キツさのあまり記憶がないんです(笑)。劇場の内装が上品な赤だったこと、大スタジオで収録用に別途演じたことは覚えていますが……。なので今回は劇場と出会い直し、魅力をじっくり味わいたいと思っています!

取材・文:尾上そら

撮影:末武和人

WEB
+a!

www.artspress.jp

WEB
+a!

このマークの記事にはWEB版だけの+aコンテンツも!



音楽堂・伝統音楽シリーズ
 しょうみょう こうごん
聲明「月の光言」



神奈川県立音楽堂

木のホールに満ちる僧侶たちの聲。
 清らかな月の光を感じる至上の時。

神奈川県立音楽堂の伝統音楽シリーズでは、昨年の「雅楽」に続き日本音楽のも一つの源流である「聲明」を上演します。古代インドから中国大陸を経て日本に伝えられた「聲明」は、キリスト教の典礼で歌われるグレゴリオ聖歌のように、仏教行事の中で千年余を越え僧侶たちによって歌い継がれてきました。

ユニゾンで斉唱する西洋の聖歌とは異なり僧侶たち一人ひとりの異なる声で唱和する聲明では、響きの混ざり合いの中で独特の豊潤な音色が醸し出されます。空間を満たす圧倒的な響きと祈りの所作のもつ高い芸術性から、1960年代より音楽作品として上演されるようになりました。

2007年からは、木のぬくもりのある空間と響きの美しさを誇る音楽堂でも、聲明公演を重ねてきました。毎回古典聲明とともに現代の優れた作曲家の委嘱新作を交え、時代特有の意味や世界観とは異なる視点と感性を加え、より豊かな表現世界を創り出し話題を呼んできました。祈りの声とホールの空間が呼応し合うその未知の音体験に、会場は不思議な高揚感に包まれるそうです。

今回の公演では、空海が伝えた真言聲明、円仁が伝えた天台聲明の二大潮流の

音楽堂・伝統音楽シリーズ 聲明「月の光言」

2017年11月4日(土) 15:00 (14:30からプレ・トーク)

神奈川県立音楽堂

構成・演出:田村博巳

出演:声明の会・千年の聲(天台・真言両宗の僧侶たち)

「月の光言」古典聲明と新作聲明(作曲:桑原ゆう)

全席指定 一般4500円 学生(24歳以下)2000円

関連講座

「明恵上人と聲明—日本の語り物音楽の源流『四座講式』について」

2017年10月18日(水) 14:00 神奈川県立図書館〈4階セミナールーム〉

講師:新井弘順(真言宗豊山派宝玉院住職)

聴講料:1000円(受付終了)



桑原ゆう

指導者らが宗派を越えて結成した「声明の会・千年の聲」が、3年ぶりに音楽堂に登場。「月の光言」と題し、『鳥獣人物戯画』を所蔵することも知られる世界文化遺産 梶尾・高山寺を開山した明恵上人を軸にオリジナルの舞台を上演します。

鎌倉時代初期の貴族社会から武士社会へと変わる激動の時代を生きた明恵上人は、「真言」のなかでも一切の災いを取り除く力のある「光明真言」すなわち「光言」を広めたことでも知られています。「月の歌人」といわれるほど月の明るさ、清らかさを愛し月の和歌を残した上人は、月の光と自己の内面を深く見つめる「澄める心」の光とを重ね、人々の生と死に思いを馳せ現世の平安を祈りました。

「月の光言」は、明恵上人が後夜の鐘の音を聴いて、峯の禅堂に上がり、夜半から暁までの間、心を一所に集注して静かに真理を追求する「観想」の姿を描写していきます。

上人が詠んだ「冬の月」三首と「光明真言」の功德を詠んだ和歌を中心部に据え、ひとつの法会が構成されます。聲明の古典曲から、様式性に富む「散華」と「錫杖」にはさまれる形で、大日如来の功力によって光明が亡くなった多

くの人びとの体を照らし出す「光明真言の大道」が営まれます。(構成・演出: 田村博巳による覚書より)

さらに、上人の和歌や「光明真言」、上人の逸話に触れた「徒然草」の一節をテキストに、新進気鋭の作曲家、桑原ゆうが創作した新作が織り込まれ全体が構成されていきます。

桑原ゆうは、日本の音と言葉を源流から探り古今と東西をつなぐことを主なテーマに、国内外で意欲的に作品を発表してきました。昨年「声明の会・千年の聲」の委嘱新作を手掛けて高い評価を得るなど、本公演の新作を手掛けるのに最も相応しい作曲家といえるでしょう。

舞台や客席を行道する僧侶たちの声の渦に包まれ、月の光を見つめる明恵上人の眼差しに寄り添う至上の時。ぜひご期待ください。

文:川西真理

*真言宗において古来最も重要視される大日如来の秘密心呪で、〈オンアボキヤベイロシャノウマカボタラマニハンドマンバラハラバライヤウン〉の梵語(二十二字)から成る。

**未明から行う後夜の勤行の時刻を知らせる鐘の音。後夜は夜半から夜明け前の頃でおよそ午前3〜5時までである。

**法会を荘厳するために唱えられる4曲の2曲で、「散華」は花びらを撒き悪鬼を退け本尊を供養する漢語の讃歌。「錫杖」は、煩惱を退ける錫杖の功德を説く漢語の曲で、節の終わりに錫杖を振る。



右上・左下とも
2014年11月公演より
©青柳聡



高山明

©江森康之

KAAT×高山明/Port B
『ワーグナー・プロジェクト』
—「ニュルンベルクのマイスタージンガー」—

KAAT神奈川芸術劇場

劇場がストリートになる、54時間の上演！

KAAT×高山明/Port B

『ワーグナー・プロジェクト』

-「ニュルンベルクのマイスタージンガー」-

2017年10月20日(金)~28日(土)

KAAT神奈川芸術劇場(大スタジオ)

構成・演出:高山明/Port B

音楽監修:荏間津広

ドラマトウルク:柴原聡子

空間構成:小林恵吾

9月上旬チケット発売開始予定



この秋、KAAT神奈川芸術劇場では現実の都市や社会に介入する活動を展開してきた高山明/Port Bによる新作『ワーグナー・プロジェクト』-「ニュルンベルクのマイスタージンガー」を上演します。

高山明は、演劇の可能性を拡張して社会に接続する方法を追求するため、実際の都市を使ったインスタレーション、ツアー・パフォーマンス、社会実験的プロジェクトなど、多岐にわたる創作活動を展開し、これまで「演劇とは何か」を問い続けてきました。

例えば、2010年にフェスティバル/トーキョーで発表された「完全避難マニアル 東京版」は、約1か月間にわたる上演。ここで観客は、このプロジェクトのサイトにアクセスし、地図をダウンロードして、40箇所の「避難所」を訪ねます。観客は移動しながら、どのような経路でどうやって辿り着くかそれぞれが自ら模索するなかで、この演劇的なプロジェクトの観客であり、演者にもなっています。このような形態のプロジェクトにおいて、その青写真をどのように作っていくかを見せるのが、高山明の手法ともいえるかもしれません。

日本の劇場では8年ぶりのクリエイター

ションとなる高山。挑むのは、近代的な演劇の手法を確立したと言われるワーグナーを「ヒップホップ」に接続して展開するプロジェクト。9日間かけて「ニュルンベルクのマイスタージンガー」を上演します。

KAAT大スタジオに、サイファー*、ライブ、クラブイベント、ラジオ放送、映像配信、プレスセンター、ラップのワークショップ、ワーグナーやヒップホップについてのレクチャーやトークイベント、ファッションショー、グラフィティなどで構成された複数の時空間を、同時に立ち上げていきます。

集中と求心の手法を確立した作曲家・総合芸術家と捉えられているワーグナーですが、ストリートを舞台にした作品「ニュルンベルクのマイスタージンガー」では、民衆のフォルクによる新たな歌/芸術が生まれる過程が描かれています。そこには、芸術や都市の祝祭を更新しようとした、革命劇としての側面があります。ワーグナーの民衆芸術への探求が描かれた「歌合戦」を、ストリートオペラと例えられることもあるヒップホップに接続し、劇場をストリートに変えて展開する『ワーグナー・プロジェクト』。6時間×9日間=54時間のタイムテーブルを通じて

て劇場に新たな「コミュニティ」を生み出す新しい都市の祝祭、ワーグナーのかつてない「上演」にご期待ください！

*ラッパーたちが自らのラップスキルを上げるために公園などに集まり、輪になってフリースタイルでその時の感情や思いをラップしあうもの。

『ワーグナー・プロジェクト』とは WAGNER × HIP HOP = ?

ワーグナー作「ニュルンベルクのマイスタージンガー」

ワーグナーの唯一の喜劇で、実在の町を舞台にした職人や町人による「歌合戦」を題材としたオペラです。上演時間が4時間半というオペラ史上最も長い大作の一つ。民衆芸術への探求が描かれた本作は、ストリートを舞台に展開し、ワーグナーが芸術や都市の祝祭を更新しようとした革命劇としての側面をもっています。町の娘と婚約する資格をめぐる、職人の親方歌手たちによる歌合戦が繰り広げられるという物語です。

リヒャルト・ワーグナー (1813~83)

作曲家、指揮者、劇作家、理論家。客電を落とす、オーケストラピットを隠して舞台に集中させるなど、現在に至る劇場の構造、求心の手法を確立した総合芸術家。ロマン派オペラ歌劇の頂点に位置づけられ、音楽界だけでなく19世紀後半のヨーロッパに広く影響を及ぼした文化人のひとりです。

チェルフィッチュとは？

岡田利規が全作品の脚本と演出を務める演劇カンパニーとして1997年に設立し、今年20周年を迎える。独特な言葉と身体の関係性をういた手法が評価され、現代を代表する演劇カンパニーとして国内外で高い注目を集める。2007年「三月の5日間」(第49回岸田國士戯曲賞受賞作品)にて国外進出を果たして以降、世界70都市での上演歴を持つ。近年は海外のフェスティバルによる委託作品製作の機会も多く活動の幅をさらに広げている。

公式WEB www.chelfitsch.net/

20周年特設WEB www.chelfitsch20th.net/



オーディション選考の様子

～新しい「三月の5日間」のための出演者オーディションを終えて～

チェルフィッチュの20周年を記念して行われる本公演。昨年9月の応募書類受付から始まった24歳以下を対象にしたオーディションには、全国から270件の応募があった。初演から13年の時を経て、現代の若者のリアルな感覚を表現するべく、ついに、去る4月6日に新しい7名が選出されました。今回の公演では、この新生メンバーでの「三月の5日間」がスタートします。



チェルフィッチュ 「三月の5日間」リクリエーション

KAAT神奈川芸術劇場

初演から13年を経て、20代新メンバーによる公演が決定！

横浜出身で、ゼロ年代の日本演劇界のターニングポイントを作ったチェルフィッチュ主宰・岡田利規。その岡田が2004年に初演したのが5日間の若者達の日常を描いた「三月の5日間」です。あらずじは、2003年3月、イラク戦争開戦時に、六本木のライブハウスで出会った男女がともにアメリカ軍が空爆を開始した日を含む5日間を過ごす、というもの。

若者のしゃべり言葉をそのまま書き起こしたような戯曲と、そうした言葉によって引き出される無意識な体の動きを誇張した身体とのスリリングな関係性が、それまで当たり前とされてきた劇構造を根本から覆し、チェルフィッチュの代表作となりました。またこの作品は、2007年クンステン・フェスティバル・テザールにて海外初演以降、世界30都市以上で上演されました。

そして今年、初演から13年を経て、オーディションから選抜された20代前半の俳優たちと共に、KAAT神奈川芸術劇場で再び公演されることになりました。さらに、トラフ建築設計事務所を舞台美術に迎え、新たに生まれ変わる「三月の5日間」にご期待ください。

チェルフィッチュ 「三月の5日間」リクリエーション

2017年12月1日(金)～20日(水)
KAAT神奈川芸術劇場(大スタジオ)

作・演出:岡田利規

出演:朝倉千恵子 石倉来輝 板橋優里 渋谷采郁
中間アヤカ 米川幸リオン 渡邊まな実

舞台美術:トラフ建築設計事務所

全席自由・入場整理番号付

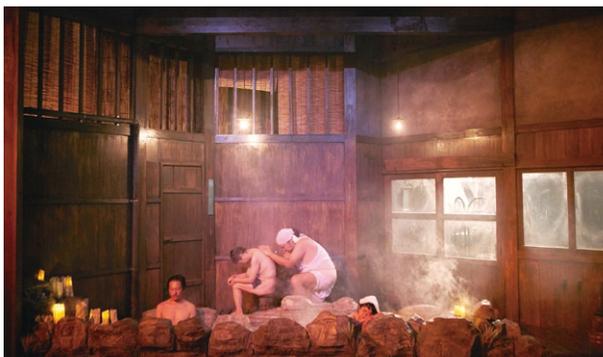
前売3500円 当日4000円 U24(24歳以下)1750円

高校生以下1000円



「三月の5日間」(2011年) KAAT公演より

Photo: 横田 徹



ペニノの代名詞ともいえる精緻な舞台美術

上下とも photo:杉能信介

庭劇団ペニノ 「地獄谷温泉 無明ノ宿」

KAAT神奈川芸術劇場

精神科医としてのキャリアを持つタニノクロー率いる庭劇団ペニノ。「庭」という抽象的なイメージのもと、奔放に広がるさまざまな表現形態を提示するカンパニーです。

第60回岸田國士戯曲賞を受賞し、代表作とも言える湯治場を舞台にした「地獄谷温泉 無明ノ宿」がKAATで国内最終公演として上演されます！どうぞお見逃しなく！



2017年11月4日(土)~12日(日) <大スタジオ>

作・演出:タニノクロー

出演:マメ山田 辻孝彦(劇団唐組) 飯田一期 日高ボブ美(ロケット) 久保亜津子 森準人 石川佳代

全席自由・入場整理番号付 前売4500円 当日4800円

学生3500円(要学生証提示・枚数限定・チケットかながわでの取扱いなし)



ヨーロッパ企画 第36回公演 「出てこようとしてるトロンブルイユ」

KAAT神奈川芸術劇場

京都を拠点に活動するヨーロッパ企画。近年は物語性よりも「企画性」に重点を置いた「企画性コメディ」を掲げ、「迷路コメディ」「ゲートコメディ」などをテーマにした作品に取り組み、2016年には代表の上田誠が第61回岸田國士戯曲賞を受賞しました。結成以来、さまざまな創作の形で発信し続けています。

特殊な劇構造や大がかりな仕掛け、誰もやらないような思いつきといった珍しいコメディを模索している劇団が、今回は一体どんなだまし絵コメディを見せてくれるのか？ どうぞお楽しみに！



ヨーロッパ企画メンバー

2017年11月16日(木)~19日(日) <大スタジオ>

作・演出:上田 誠 音楽:滝本晃司

出演:石田剛太 酒井善史 角田貴志 諏訪雅 土佐和成 中川晴樹 永野宗典 西村直子 本多力 / 金丸慎太郎 川面千晶 木下出 菅原永二

全席指定 前売4500円 当日5000円

学生3000円(前売のみ 要学生証提示・枚数限定・チケットびあのみ取扱い)



【演出家のコメント】

画家とかアートとかってちょっと凄いやな、って興味はずっとありまして、でも下手に近づくと地獄の釜が開くぞ、っていう畏れもあったので、書店の「アート」の棚の前を行ったり来たりしながら様子を伺ってたんですが、そんな僕に気さくに話しかけてくれた背表紙に書いてあったのが「だまし絵」でした。嬉しくなって本を手にとって開いてみたら、絵があらうとか俺に向かって飛び出してきていたという。地獄の釜は結局開きました。今回はだまし絵をめぐるだまし絵コメディです。トロンブルイユってだまし絵のことです。(上田 誠)



2014年4月公演より

ブロードウェイ・ミュージカル「アダムス・ファミリー」

KAAT神奈川芸術劇場

傑作ミュージカル「アダムス・ファミリー」を、オールスターキャストで華やかに再演!!

ブロードウェイ・ミュージカル「アダムス・ファミリー」は、2014年4月にKAATで日本初演。白井晃の質の高い演出と、キャラクターにぴったりのキャスト陣、心に残る優れた楽曲で、「何度も見たくなる本当に楽しい作品」と、再演を望む声が続出し、2017年のハロウィン・シーズン、ついにKAATで待望の再演の幕を開けます。

また、本作品で、読売演劇大賞優秀男優賞を受賞したゴメス役の橋本さとしは、今回もキャストイングされています。

1990年代の映画やCMで、日本でも高い知名度を誇り、ハロウィン仮装の人気キャラクターでもある「アダムス・ファミリー」。アダムス一家と人間の一家が出会うことよって起こる騒動を描いた本ミュージカルは、今後の定番作品となるポテンシャルを秘め、既存のミュージカルファンを超えたファンを獲得する可能性が大いにある、最高のエンタテイメント作品といえるでしょう。

ブラックな笑いとゴシックなテイストにあふれた、ユニークなお化け一家の家族愛ミュージカル。新たに豪華な新キャストを迎えた、新生「アダムス・ファミリー」の開幕です。

ブロードウェイ・ミュージカル「アダムス・ファミリー」

2017年10月28日(土)～11月12日(日)

KAAT神奈川芸術劇場(ホール)

台本:マーシャル・ブリックマン & リック・エリス

作詞・作曲:アンドリュー・リッパ

原案:チャールズ・アダムス

翻訳:目黒条/白井晃 訳詞:森雪之丞

演出:白井晃

出演:橋本さとし 真琴つばさ/辻一帆(ダブルキャスト)

昆 夏美 村井良大

樹里咲穂 戸井勝海 澤 魁士

庄司ゆらの 梅沢昌代 今井清隆 他

全席指定 S 12000円 A 9000円

U-25チケット 6000円 (観劇時25歳以下対象・当日指定席引換・

要身分証明書・チケットぴあのみ取扱い)

※未就学児の入場不可

What is 「アダムス・ファミリー」?

「アダムス・ファミリー」は、元々はアメリカを代表する漫画家チャールズ・アダムス(1912～88)が、雑誌「ニュー Yorker」に発表した一コマ漫画です。ブラックユーモアとゴシックテイストに溢れたそのキャラクターが絶大な人気を博し、テレビドラマやアニメが制作され、1991年には映画が世界的に大ヒット、93年には「アダムス・ファミリー2」も公開されました。2010年4月、マーシャル・ブリックマン&リック・エリス(「ジャージー・ボーイズ」)の台本、アンドリュー・リッパ(「ビッグ・フィッシュ」)の作詞・作曲で、ついにミュージカルとなってブロードウェイに登場。大きな話題を呼び、現在も世界各地で公演が続けられています。



川瀬賢太郎
(指揮)
©Yoshinori Kurosawa

宮本亜門
(演出)



神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ2018 モーツァルト作曲 オペラ「魔笛」

神奈川県民ホール出張公演

毎回贅沢な舞台をお届けしている神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ。今年度は県民ホールが改修工事休館のため、横須賀、相模原を巡回してモーツァルトの「魔笛」を上演します。

今回の「魔笛」は2013年にオーストリア・リンツ州立劇場で初演された宮本亜門版。家庭のリビングから始まってコンピュータゲームの世界に入りこむ、大胆な設定が大評判となった演出です。昨年に引き続き、音楽賞を次々と受賞し飛ぶ鳥を落とす勢いの若きマエストロ・川瀬賢太郎が神奈川フィルを率います。

オペラに興味はあるけれどちょっと敷居が高い……という方には、テレビやコンサートでお馴染みの作曲家・青島広志が「魔笛」の聴きどころ、観どころを詳しく紹介するオペラ講座をはじめとした関連企画がおススメ。本公演のアンダースタディ募集や名曲アリアを集めた1時間で楽しめる「魔笛」ハイライトなど、多彩な関連企画を予定しています。

モーツァルトのオペラ作品の中でもひととき万人の人気の高い傑作「魔笛」。オペラを初めて観る方も、オペラを観つくした方も、オペラを勉強中の方も、それぞれの楽しみ方を探してみたいかがでしょうか。

モーツァルト作曲 オペラ「魔笛」

2018年3月11日(日) 14:00 よこすか芸術劇場
3月18日(日) 14:00 相模女子大学グリーンホール

演出:宮本亜門

指揮:川瀬賢太郎

出演:大塚博章(ザラストロ) 安田麻佑子(夜の女王)

鈴木 准(タミーノ) 幸田浩子(パミーナ)

萩原 潤(パパゲーノ) 九嶋香奈枝(パパゲーナ)

高橋 淳(モノスタス) 他

二期会合唱団(合唱) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

全席指定 S 10000円(Sペア19000円) A 8000円 B 5000円

C 3000円 学生(24歳以下・枚数限定)2000円

◎10/14(土) KAme先行予約 11/3(金・祝) 一般発売

青島広志のたのしい名作オペラ講座

オペラ「魔笛」の魅力

2018年2月11日(日) 14:00 社のホールはしもと

2月18日(日) 14:00 ヨコスカ・ベイサイド・ポケット

出演:青島広志(お話・ピアノ)

横山美奈(ソプラノ) 小野 勉(テノール) 福山 出(バリトン)

全席指定 一般2000円 学生(24歳以下・枚数限定)1500円

◎10/14(土) KAme先行予約 11/3(金・祝) 一般発売



第66回 神奈川文化賞・スポーツ賞 贈呈式 無料ご招待!

神奈川県立音楽堂



2017年11月3日(金・祝) 14:30

申込み締切10月3日(火)

インターネットまたは往復はがき(消印有効)

※お一人につき2名様まで

※応募者多数の場合は抽選 ※未就学児入場不可

【第66回文化賞・スポーツ賞贈呈式】で検索
神奈川県文化課「贈呈式」担当 045-210-3808

毎年、文化の日に行われる、神奈川文化賞・スポーツ賞の受賞者の表彰と神奈川フィルハーモニー管弦楽団による祝賀演奏会を今年度は音楽堂で開催します。この式典に約1000名様を無料でご招待します。

横濱JAZZ PROMENADE 2017

KAAT神奈川芸術劇場



ヒカシュー

2017年10月7日(土)・8日(日)
(大スタジオ)

横濱JAZZ PROMENADE 2017 各会場
横浜市開港記念館、関内ホール、
ランドマークホール、横浜みなと
みらいホール、ほか多数で開催。
詳細は主催者HPでご確認ください。
www.jazzpro.jp/

「横濱ジャズプロムナード」は、市民とミュージシャンが一体となって「街全体をステージ」を合言葉に1993年にスタートしたイベント。今ではこの二日間の出演のために日本中からトップミュージシャンが集結する規模になりました。今年には記念すべき第25回目の開催です。この期間はぜひ横濱各所の会場で音楽のあるひとときをお楽しみください!

知れば、
知るほど、
好きになる

音楽の小箱

カストラート (castrato)

バロック時代（16世紀末～18世紀中頃）のヨーロッパを熱狂させたスーパースター、それは「天使の声」と評された男女の性を越えた「カストラート（去勢）」歌手たちでした。

聖書の教えにより女性が教会で歌うことを禁じたキリスト教では、中世より聖歌隊の高声部をボーイソプラノや裏声の男性歌手が担っていま



カストラート（左の大きな人物）が出演するオペラ舞台（18世紀画）。去勢手術をされた少年は成人後も背丈が伸び続けることが多かった

した。しかし16世紀後半には、変声期前の少年に去勢手術を施してボーイソプラノの高い音域を保たせ、成人男性の大きな身体から発する女性よりも艶と張りのある美しい声を持つカストラートが誕生します。この時代、教皇の命でイタリアの劇場でも女性の舞台出演が禁じられていたため、作曲家はオペラのヒロインにカストラートを指定し、さらに男性主役である神や英雄も、性別を超えた超人的な声がふさわしいとカストラートを起用しました。

あのモーツァルトも、オペラにカストラートを起用していますが、「フィガロの結婚」（1786初演）など民衆に身近な題材を扱ったオペラでは起用

していません。^{アンシャン・レージュム}旧体制から近代市民社会への変革期を迎えたこの時代、男女が夫婦となり子どもを産み育てるという価値観や「自然への回帰」（ルソー）を提唱する啓蒙思想*のもと、人工的なカストラートは排斥されるようになり、18世紀後半になるとローマ教皇も教会や劇場で女性が歌うことを認めていきました。

今日のバロック・オペラ上演では、カストラート役の代わりとして、かつてファルセットのか細い声しか出ないとされたカウンターテナーが卓越した唱法でその弱点を解消し、聴衆を魅了しています。

*啓蒙思想：理性の啓発によって人間生活の進歩・改善を図る17、18世紀の近代市民社会の形成を推進した思想運動

楽器ミュージアム

こつづみ おおつづみ 小鼓と大鼓

日本の膜鳴（膜を張って音を出す）打楽器には桴で打つ太鼓と、素手で叩く鼓があります。インドを起源とする鼓は中国を経て伝えられ、小鼓、大鼓となって室町時代から能の楽器として定着し、歌舞伎や民俗芸能でも用いられてきました。

小鼓、大鼓とも構造の基本は同じです。胴は砂時計型の木製で、その両端を金属の輪に張った馬の革で挟みます。革の縁には「調緒」という麻紐を通して革と胴を締めつけます。

小鼓、大鼓は一緒に、それぞれ一人ずつで演奏しますが、大鼓はリズムの骨格をつくり、小鼓は音色を変化させて彩りを与えるという役割

があり、奏法が異なります。

小鼓は、左手ですくうように持って右肩に乗せ、下から打面にそえた右手で打ち上げます。その際、裏革を湿らせたり、調緒を強く握ったりゆるめたり、また打つ位置や打つ強弱を変えてさまざまな音高や音色を打ち分けていきます。

大鼓は、左膝にのせ右手で水平に打ちます。硬質な音を出すために、革は炭火で焙じて乾燥させ、調緒は固く締めて打ち込みます。より鋭い響きとなるよう右手に指皮を付けることもあります。

鼓は、打つ前に必ず「ヤ」「ハ」などの声を掛けます。それは能や歌舞伎



小鼓（直径約200mm、胴長約250mm）



大鼓（直径約230mm、胴長約290mm）

の場面にあわせた表現であり、また何拍を打ったかを示す重要な演奏の一部です。

一見、同じような形に見える小鼓と大鼓ですが、湿らせたり乾燥させたり、扱いが異なるのは興味深いところですね。

神奈川県民ホール ボイラーと電気、中央監視室 劇場を支える「地下帝国」

WEB
+a!

めったに入れない劇場・音楽ホールの舞台裏に潜入すれば、そこもまたドラマに満ちた「劇場」。

「舞台裏の劇場」第2弾は、前回に続き工事休館中の神奈川県民ホールの「地下帝国」をご紹介します。

神奈川県民ホールの地下には何があるかご存知ですか？ 謎の地底湖が広がって……いたりしません。しかし公演や展覧会に来場されるお客様の足下には本当に、出演者も舞台スタッフも、劇場スタッフでさえも入ったことのない「県民ホール地下帝国」の広大な空間が広がっています。

変電室と聞いて何だかわかりますか？ そこは県民ホールの心臓部。県民ホールに引かれた何万ボルトもの電気を、建物全体に分配します。公演中に決して電気の不具合などが生じないように、複数の変圧器を複雑に組み合わせる常に必要な箇所に必要なだけの電気が供給されるようになっています。あわや停電！という時でも、ディーゼルエンジンの自家発電機が作動し、数時間はバックアップをしてくれるそうです。

ボイラー室に入ってすぐ目を引くのは、蒸気機関車!? と見紛う巨大な3台のボイラー。大小ホールや会議室、ギャラリーと、日に何千人もお客様が入り出す建物全体を常に快適な温度湿度に保つため、年間365日稼働し、1台あたり約2.4トンの保有水から蒸気を発生させ、循環させます。開館以来40年以上変わらない、年季が入った古めかしい形ですが、21世紀の現在もこれ



壁にズラリと並んだ工具！ 一つひとつ形やサイズの違う、年季の入ったスパナやドライバー。欠けや戻し忘れのないよう、壁に輪郭が描かれています。絶対に手違いを許さない精密な仕事振りが感じられます。



「蒸気機関車？」と見紛うような巨大な煙管ボイラーが3台。1日最大10～11トン相当の蒸気を発生させ、暖房と冷房に利用します。

が最も効率が良く、改修後も変わらず働き続けるそう。

ボイラー室は火気を扱う場所。毎年11月には「火入れ式」を行い、安全祈願をします。そんな日は年に一度「地下帝国」にも人が集まり、「冬の到来」を実感します。

これらの精密な機械を操るのが、中央監視室のスタッフたちです。いくつもの専門的資格を持った経験豊かなスタッフ数名が一年中シフトを組み、見えない地下から、ストイックに華やかなアートの世界を支えているのです。



「地下帝国の番人」は「気は優しく力持ち」を地で行く中央監視室スタッフ。暑い、寒い、もっと電力を…といった要望に的確に応えます。

Step by Step

結構地道にやっています

KAAT神奈川芸術劇場の人材育成事業

「モノをつくる、人をつくる、まちをつくる」の「3つのつくる」をテーマにスタートしたKAAT神奈川芸術劇場。「創造型劇場」として斬新な舞台を展開する一方、年間を通し「新しい劇場技術の変化に対応できる専門家や、次世代のアートマネジメントを牽引する」人を育てる地道な活動をしています。



Shape Arts (シェイプ・アーツ:障がいのある人々の文化へのアクセスの向上に取り組んでいる芸術団体)によるトレーニングの様子

最新の機材や考え方、舞台技術者が知っておくべき内容の講義や実習を行う舞台技術ワークショップ、劇場等の文化施設の事業に関心がある方、舞台芸術の世界でさらなるステップアップを目指す方が、さまざまな業務

を劇場スタッフと共に体験する劇場インターンシッププログラム、さらに、全国の創造型劇場との共同制作を通して人材、知識、技術の相互交流を行ったり、国内外の劇場から舞台技術者の研修を受け入れたりする劇場間人材交流など、さまざまなプログラムがあります。2014年から取り組み始めたのが、パフォーミングアーツと障がいの関わりを模索する、ワークショップやシンポジウム、トレーニングや公演の試みです。2016年に施行さ



ジェニー・シーレイ(グレイアイ・シアター・カンパニー芸術監督、演出家、ロンドン・パラリンピック競技大会開会式共同ディレクター)のワークショップの様子

れた「障害者差別解消法」や2020年東京オリンピック開催決定を契機に、ブリティッシュ・カウンシルや国際交流基金などのサポートを得て、2012年ロンドンオリンピック・パラリンピックを経て先行事例のあるイギリスから講師やアーティストを招聘したり、障がいのあるアーティストとの関わり方や、あらゆる人が参加可能な事業について考えたり。新しい劇場の進む道を探る試みが、一步一步、現在も進行中です。

Photo : 西野正将

感動の味わい



公演のあとは、横浜中華街でお食事を!

皆さんはKAAT神奈川芸術劇場と中華街のタイアップ企画をご存知でしたか? KAATの各公演上演期間中、横浜中華街のタイアップ参加各店舗で入場チケットの半券提示をすると、お一人様1回限り、特典が受けられ

ます。お店によって特典が異なりますので、詳しくはHPでご確認ください。また、夜22時過ぎでも営業している飲食店リストも配布していますので、夜の公演後のお楽しみとしては是非ご利用ください!

【実施概要】

■実施期間 2017年4月1日～9月30日(10月以降も実施予定。詳しくはHPで告知)

■場所 参加各店舗

※各公演上演期間中、1回限り有効です。(一部の公演を除く。対象公演はHP、パンフレットでご確認ください) ※半券はご入店の際にご提示ください。※ほかのサービスとの併用は不可です。

www.chinatown.or.jp/feature/tie-up/



イラスト:遠藤裕喜奈

リヒャルト・ワーグナー 「ニュルンベルクのマイスタージンガー」

1861年、ワーグナーはチューリヒ亡命時代* (1849～58)のパトロン、豪商オットー・ヴェーゼンドクに招待され、ヴェニスを訪れます。ワーグナーはオットーの妻マティルデと亡命時代に不倫関係にあり、離別の後も彼女への想いを^{くすぶ}燃らせていました。が、夫妻の互いへの揺るぎない愛を感じ、その想いをついに諦めます。この時、ワーグナーは中断していた「ニュルンベルクのマイスタージンガー」の作曲を決心します。ワーグナーは自身とマティルデを作中のザックスとエファに重ね合わせたといわれます。ザックスは想いを断ち切り、エファと若き騎士ヴァルターとの愛を祝福するのです。

その後、ワーグナーは友人フランツ・リストの娘コジマと運命的な再会をします。彼女は指揮者のハンス・フォン・ビューローの妻となっていたのですが、1863年の秋、ベルリンでワーグナーとコジマは二人だけで馬車で遠乗りし、その時、互いの想いを確かめたといえます。それから2年後、ビューロー夫人であるコジマはワーグナーの子イゾルデを出産するのです。

1867年2月、コジマとの間に生まれた第二子はエファと名付けられました。「マイスタージンガー」は、同年10月に完成します。革新的な歌手ヴァルターが因習に固まった人々に批判されるも、最後には栄光を掴む、という当時のワーグナー自身を投影したストーリーです。ワーグナーはヴァルターの歌で作品を締めくくろうとしていましたが、コジマはワーグナーを説得して「ザックスの最終演説」で終わらせます。ザックスは歌います「神聖ローマ帝国は^{もよ}霧と消えようとも、聖なるドイツ芸術は我らの手に残るだろう」と。さすが未来のバイロイト音楽祭*の女主人です。完成した作曲スケッチには、「とくにコジマのために」と記されています。「ニュルンベルクのマイスタージンガー」は二人の女性の影響の元に生まれたのです。なお、ワーグナーとコジマが正式に結婚したのは、完成から3年後の1870年の事でした。

リヒャルト・ワーグナー Richard Wagner (1813～83)
19世紀のドイツ・ロマン派歌劇の頂点をなす作曲家。ほとんどの自作オペラで台本を単独執筆し、音楽、文学、演劇、美術を統一した総合芸術に完成。これらの作品は、楽劇とも呼ばれる。

*ワーグナーは、1849年ドレスデンで起きたドイツ3月革命に参加し指名手配された。

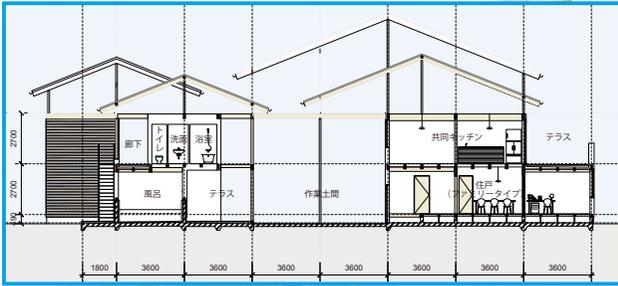
*バイロイト音楽祭:ワーグナーのオペラ・楽劇を上演するために建てられた祝祭劇場で今日まで毎夏開催。夫の死後コジマがすべてを取り仕切った。

山本理頭の
街は
舞台だ

1 家族 1 農家ではなく、
1 コミュニティ 1 農家となる。
郊外農業
(茅ヶ崎市 松林・菱沼地区)

「農の町-都市型農業の新しい形への転換」諸星佑香 (横浜国立大学大学院/建築都市スクール/RY-GSA、山本スタジオ2017)

・地域に残っている農家を中心として共同体を作り、農地を個人所有ではなく、地域社会全体で一括に管理をする。・それぞれの地主農家の家を新しい居住単位「共同農家」に建て替える。大屋根を持つ、農業の拠点として町に開かれた共同農家は、地主農家はもちろん、新たに移住した人々の共同住宅であり、さらに収穫物の加工場、直売所であり、レストランとなる。農業と町を繋ぐ拠点である。・農地は、道と畑の両方に開くことで、農の風景が町に溢れ出て、地域社会の風景を生み出す。



MAP: 2050年、戸建て住宅の集合化が進んだ先の地域社会の姿

都市圏の郊外には、ベッドタウンとしての戸建て住宅群と虫食い状態に残る農地が無秩序に混在している。両者には何の関係性もない。宅地に暮らす人々は、畑で誰が何を育てているのか、その野菜がどこで売られているのかを知らない。そして農家の高齢化と跡継ぎ不足により、農地の宅地化・荒地化がさらに加速している。それでも1農家11家族という農業経営と1住宅11家族という住宅供給システムは変わっていない。

現在残っている農家11地主を町の拠点とし、



郊外住宅地に点在する農地



©Jake Walters

企画・監修・山本理頭 (建築家)

1945年生まれ。71年、東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻修了。東京大学生産技術研究所原研研究室。73年株式会社山本理頭設計工場を設立。2007年、横浜国立大学大学院教授に就任(11年)。17年、現在、横浜国立大学大学院客員教授。

地域コミュニティを取り戻すことは出来ないだろうか。農業に関心のある人たちが集まる新たな町づくり。1家族1農家ではなく、1コミュニティが1農家となるのだ。

郊外農業は、生産地と消費地が重なり合っている。町の中で生産から消費までを循環させることが可能だ。生産だけでなく販売・加工・調理などに携わる人全てを農家の住人とし、共に暮らす町づくりを行う。そのためには、そうした活動に相応しい住宅の提案が求められる。戸建て住宅ではなく、集合住宅。農地所有者(地主)が大家になる。住人は家賃を払って住む。でも農業活動に参加することで収入を得ることが出来るわけである。

1農家11家族でも大量生産でもないスケールだからこそ野菜の少量多品種生産が可能となる。独自の野菜の名産品化という地域性を生かしたブランド化も可能だ。ブランド野菜の販売やそれらを利用した加工食品の開発、レストランの経営など、農業を中心とした観光化も夢ではない。

ブランド化が進み地域の産業として定着すれば、住民にとっては地域産業となり、より安定した地域社会が誕生する。土地の個性も明確になり、単なるベッドタウンでは期待できない地域社会の関係も生まれてくるのである。(談)



かながわ
芸能
●
歳時記

山間の集落に繰り広げられる壮大な祭り

山北のお峯入り (足柄上郡山北町皆瀬川／神明社／10月)



一同が笛・太鼓のお囃子にあわせ繰り歩く「道行き」

WEB
+a!

山北のお峯入りは、概ね5年に一度、10月に山北町役場駐車場と神明社で行われ、起源は南北朝時代まで遡るといわれます。国指定重要無形民俗文化財です。

お峯入りは、一般には修験道の入峰修行を意味する言葉。修験道の行事が元になり、時代を経るにつれて芸能化し現在の形になったと考えられています。演者だけで80人、11演目を8種の歌舞で行います。

演者一同が行列を組み繰り歩く「道行き」の後、おかめの「みそぎ」。太鼓と笛の囃子に合わせて歌う「満月の歌」。原始宗教の呪法を示すとの説もある「棒踊り」。大名行列風の「鹿枝踊り」。山伏が護摩を焚く「修行踊り」。古代の歌垣を思わせる「歌の山」。古代儀礼の国見と蹴鞠の所作をする「四節踊り」。おかめの「五色踊り」。再び「棒踊り」。そして「道行き」で終了です。山間の集落に繰り広げられる壮大な祭り、その文化的価値は計り知れません。

●同時期10、11月開催のその他の祭り

初山の獅子舞(川崎市宮前／菅生神社／10月1日)
海南神社面神楽(三浦市三崎／海南神社／11月5、6日)

◎より多くの方々に見ていただけるよう山北町役場で公開公演を行います。なお、神明社へは徒歩のみのご案内となります。
*国見：天等や地方の長が高い所に登って、国の地勢や民の生活の様子を見ること。国土の繁栄をあらかじめ祝う儀礼。

監修：神奈川県民俗芸能保存協会会長 石井一躬
協力：山北町教育委員会・お峯入り保存会
写真提供：山北町教育委員会

住所：足柄上郡山北町皆瀬川1533 神明社
足柄上郡山北町山北1301-4 山北町役場
交通：神明社＝JR御殿場線「山北駅」下車 徒歩2時間30分
山北町役場駐車場＝JR御殿場線「山北駅」下車 徒歩2分
日時：2017年10月8日(日)
山北町役場駐車場 9:30～11:00 神明社 13:30～14:30

more! カナガワ

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

定期演奏会 みなとみらいシリーズ 第333回

2017年10月14日(土) 14:00 横浜みなとみらいホール
指揮：川瀬賢太郎 語り：唐田えりか
武満 徹：系図 ～若い人たちのための音楽詩～
R.シュトラウス：交響詩「英雄の生涯」
S 6000円 A 4500円 B 3000円 ほか割引あり
神奈川フィル・チケットサービス 045-226-5107 www.kanaphil.or.jp/
@kanagawaphil facebook.com/kanaphil

神奈川近代文学館

特別展「没後50年 山本周五郎展」

2017年9月30日(土)～11月26日(日) (10/9を除く月曜休館)
「小説にはよき小説とよくない小説があるだけ」というゆるぎない信念のもと、人生をひたむきに生きる人間の姿を鮮やかに描き出した山本周五郎(1903～1967)。没後50年を機に読者のため「よき小説」を書くことのために生涯をささげたひたむきな作家人生と作品を紹介します。
一般600円(65歳以上、学生、20歳未満割引あり/中学生以下無料)
TEL.045-622-6666 www.kanabun.or.jp/exhibition/6475/

神奈川県立近代美術館 葉山

「生誕160年 マックス・クリンガー版画展」

2017年9月16日(土)～11月5日(日) (9/18と10/9以外の月曜休館)
19世紀から20世紀の転換期にドイツで活躍した彫刻家、画家、版画家マックス・クリンガー(1857-1920)の生誕160年を記念する本展では、精緻な写実性と幻想性が共存し、不思議な魅力を湛える版画世界をより広く紹介します。同時開催コレクション展「1937—モダニズムの分岐点」
一般1200円(20歳未満・学生、65歳以上、高校生割引あり/中学生以下無料)
TEL.046-875-2800 www.moma.pref.kanagawa.jp/

神奈川県文化課

第3回全国高等学校日本大通りストリートダンスバトル

2017年11月12日(日) 13:30～16:30(予定) (関東大会予選 9:00～12:00(予定))
日本大通り・県庁前特設ステージ(雨天時：県庁本庁舎大会議室)
全国の高校生が熱いダンスパフォーマンスを繰り広げる「第3回全国高等学校日本大通りストリートダンスバトル」を開催。応募チームの中から、オンラインコンテスト、予選を通過したチームが出場します！当日の様子は、J:COMで放送します。 TEL.0466-60-7550
第3回全国高等学校日本大通りストリートダンスバトル実行委員会事務局

My Roots My Favorites

新井弘順

(真言宗豊山派宝玉院住職)



2007年神奈川県立音楽堂公演「音楽堂で聴く聲明—西行マンダラー—」より ©青柳 聡

世界に放り出され、
最先端の音楽と出会えたことで
自分達も聲明を音楽として再発見した。

WEB
+a!

1973年、国際交流基金のツアーでテヘランからフランス、ドイツ、アメリカなどを周りました。日本の伝統芸能や音楽の原点を紹介する43日の世界旅行です。国立劇場の木戸敏郎さんが、私の師匠で人間国宝の青木融光大僧正の聲明が素晴らしいからと推挙され、お坊さんが17名ほど行きました。この時初めて聲明を欧米の人たちの前で公演したのです。石井真木さんらの現代音楽のアンサンブル、平家琵琶の方々も一緒でした。私はその前年、28歳で初めて国立劇場に出たばかり。ツアーについて来いと言われ、若手なのでトラックで先乗りして道具や舞台を整えたりしながら一度舞台に出ました。その時融光師は82歳です。82歳の方がベートーヴェンホールで「凄い。素晴らしい音楽家だ。芸術家だ」と大絶賛を浴びた。一方、宗教音楽をお金を取って見せるのはいいのか、という批判的な新聞評も出ました。

フランクフルトのホールでは真木さんの新曲で無我夢中で法螺貝を吹いて、カーテンコールは急遽「お坊さん出る」と言われて。恥ずかしい思いをしながら現代音楽デビューしました(笑)。五線譜で指定されたと

おりにするのが音楽と思っていたのが、なんだ現代音楽ってこんない加減で面白いものなのかと(笑)。つまり戦後の現代音楽に直接触れたのです。

聲明はグレゴリオ聖歌のような綺麗なハーモニーではなく、各自が地声で声を響き合わせて唱えるもの。インド、中国を経て日本へ伝わり、歴史的にも地理的にも大きな広がりを持つ、日本の音楽や古典芸能の源流なのですが、我々は職業としてやってきて、音楽として全然意識していなかった。それが欧米の人々にインパクトを与え、次第に、聲明ってこんなに素晴らしいものなのだ、と自分達自身も聲明を再発見した。その後国内外の舞台で公演し、実験的な音楽にも創造的に関わり、研究にも進んで行くことになりました。世界に放り出され、最先端の音楽と出会えたことで、聲明との一番良い出会いがあったのかな、と思います。(談)

新井弘順 Kojun Arai

1944年埼玉県生まれ。高野山大学大学院修士課程修了。真言聲明を青木融光大僧正に学ぶ。上野学園大学日本音楽史研究所研究員として声明史料の調査研究に従事。所沢市 宝玉院・普門院住職。真言宗豊山派迦陵頻伽聲明研究会会員。

©11/4(土)音楽堂聲明「月の光言」、10/18(水)関連講座(受付終了)に出演。本誌P6-7の関連記事をご覧ください

REVIEW

音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ20 モンテヴェルディ生誕450年記念特別公演 モンテヴェルディ作曲 「聖母マリアの夕べの祈り」

2017年6月3日(土) 神奈川県立音楽堂

リナルド・アレッサンドリーニ指揮 コンチェルト・イタリアーノ



©青柳 聡

大作曲家モンテヴェルディの生誕450年を記念して行われた本公演。本場イタリアから指揮者リナルド・アレッサンドリーニとコンチェルト・イタリアーノが来日し、モンテヴェルディの代表作のひとつで、宗教音楽の傑作でもある「聖母マリアの夕べの祈り」を上演しました。演奏は、アレッサンドリーニの飾らない音楽作りが体现されており、合唱部は各パートを一人の歌手が受け持つOVPP (One Voice per Part) 方式が採用され、弦楽アンサンブルでは名手揃いの奏者によって、透明感のある美しい響きが木のホールへ充満しました。終演後は、客席から盛大な拍手が送られ、演奏者同士強く抱き合いつつ、演奏の成功を喜び合っていました。

*音楽堂では、今年11月25日(土)に鈴木優人指揮/パッハ・コレギウム・ジャパンの演奏で、モンテヴェルディ晩年の傑作歌劇「ポッペアの戴冠」(演奏会形式・日本語字幕付)が予定されています。

お客様の声

素晴らしいの一言です！ 宗教音楽の素晴らしさを再確認しました。本当に心に沁みる演奏でした。
(60代男性)

CDやFMで聴くのととはまるで別世界の迫力。このホールを一杯活用し、他のホールでは聴けない「人馬一体」感あり。同じくOVPPを採用したラ・プティット・バンドの「マタイ受難曲」(編集部注※2016年3月6日音楽堂で演奏)とは異なる華やかさがあった。イタリアの演奏家一人一人の個性がホールに炸裂していた。(50代男性)

公益財団法人神奈川芸術文化財団をご支援いただいている方々

公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員制度を始めとしたさまざまなご支援の仕組みを通じて、広く皆さまからご寄附・お力添えをいただいております。

公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員

法人賛助会員 株式会社アクトエンジニアリング/株式会社浅岡装飾/アサヒビール株式会社/アズビル株式会社/学校法人岩崎学園/株式会社ヴォートル/株式会社エス・シー・アライアンス/株式会社NHKアート/株式会社勝利庵/一般財団法人神奈川県教育福祉振興会/公益財団法人神奈川県結核予防会/神奈川県信用保証協会/株式会社神奈川汎文社/株式会社神奈川保健事業社/神谷コーポレーション株式会社/カヤバシステムマシナリー株式会社/川崎北ロータリークラブ/川本工業株式会社/かをり商事株式会社/株式会社共栄社/株式会社ケイエスピー/株式会社KSP/株式会社合同通信/コトフキシーティング株式会社/株式会社サンナイオートメーション/株式会社シグマコミュニケーションズ/株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局/株式会社清光社/月島機械株式会社/株式会社テレビ神奈川/東工株式会社/ナイス株式会社/株式会社日建設計/日産自動車株式会社/日生商工株式会社/日総ブレイン株式会社/株式会社野毛印刷社/パナソニックESエンジニアリング株式会社/平安堂薬局/株式会社ホテル、ニューグランド/一般社団法人本牧関連産業振興協会/丸茂電機株式会社/三沢電機株式会社/森平舞台機構株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社/株式会社有隣堂/株式会社豊商會/株式会社ユニコーン/株式会社横浜アーチスト/横浜新都市センター株式会社/横浜信用金庫/弁護士法人横浜パートナー法律事務所/横浜ビルシステム株式会社/株式会社ワイイーシーソリューションズ (匿名;3社)

永年個人賛助会員 川村恒明 **個人賛助会員** 畔上 譲 / 若間良孝 / 岡田博子 / 長田大徳 / 黒瀬博晴 / 小山明枝 / 高岡俊之 / 橋本尚子 / 藤原靖也 (匿名;4名)

協賛・協力

能舞台協賛 ナイス株式会社

協力 神奈川総合設備株式会社 / 神奈川ヨト自動車株式会社 / 崎陽軒 / 株式会社東芝 / 株式会社野毛印刷社 / 株式会社富士住建 / 三菱地所株式会社

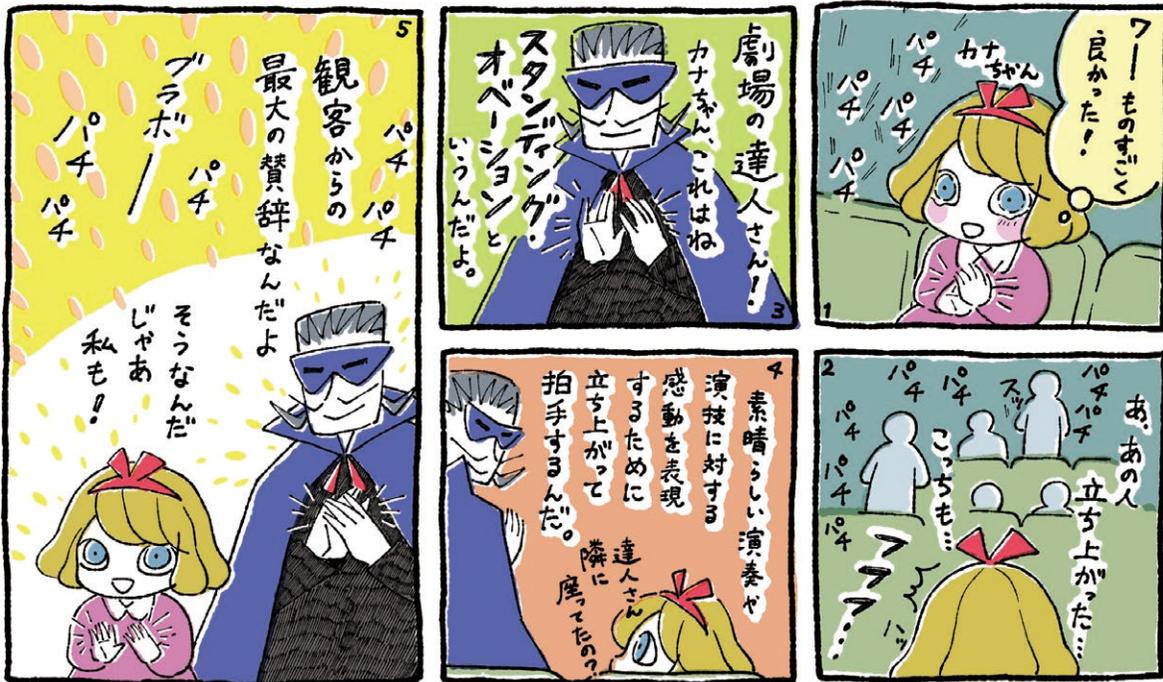
(敬称略 2017年8月17日現在)

ご寄附・ご協賛・ご協力のお申込み・お問合せ：本部経営企画課 045-633-3760 www.kanagawa-arts.or.jp/support/

劇場の達人 眼鏡

「スタンディング・オベーション」

え・ユキナ



Kame かながわメンバーズ 登録無料!
KANAGAWA members メルマガ無料配信
チケットの先行予約が可能
登録は WEB で! www.kanagawa-arts.or.jp/kame

神奈川芸術プレスはここに 있습니다。
神奈川県内の主な公共施設の情報コーナー、首都圏の公共ホール・公立図書館・博物館・書店・銀行等に配架しております。
WEBでも読めます! www.artspress.jp

MAGCUL 神奈川県発、文化発信ポータルサイト
MAGCUL マグカル ドット ネット
MAGCUL.NET

ご支援のお願い

公益財団法人
神奈川芸術文化財団

皆様のご支援が、
神奈川の文化と芸術を支える糧となります。

公益財団法人 神奈川芸術文化財団は、神奈川県民ホール、KAAT 神奈川芸術劇場、神奈川県立音楽堂を運営し、音楽・演劇・オペラ・ミュージカル・ダンス・伝統芸能の公演、美術展などの幅広いプログラムをお届けしています。これからも神奈川県内の文化・芸術を振興するとともに、神奈川から文化の発信を行なってまいります。皆様のおたがご支援をよろしくお願い申し上げます。

賛助会員
(法人・個人)

年間を通じて財団の事業全般にご賛助。

個別協賛
(法人・個人)

特定の公演等に対してご協賛。

広告スポンサー

主催公演のチラシや当日プログラム、「神奈川芸術プレス」などへの広告。

団体鑑賞

主催公演のチケットを福利厚生・販売促進等ツールとして。

弊財団への賛助会費(寄附金)には、税制上の優遇措置があります。

詳細・お申込み・お問合せ | 公益財団法人神奈川芸術文化財団 本部経営企画課 〒231-0023 横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル6階
電話: 045(633)3760 FAX: 045(663)3714 www.kanagawa-arts.or.jp/support/

撮影: 本多康司

編集後記

PRESSリニューアルから1年半。編集部を引退します。ご愛読ありがとうございました。(井) 新メンバーの作る新しいPRESSもどうぞよろしくお願いいたします。(新メンバー) 「井」さん、長い間(あつという間でしたが)いろいろありがとうございました。新たなステージへ向けて、さらなる飛躍を期待しております。(倉)